

まえがき——調査の目的と概要

1 調査の目的

本調査は、ヘリコプター救急拠点が急速に増加したイタリアの実情調査を主とし、オーストリア、フランス、アメリカのヘリコプター救急の現状を調べたものである。フランスとアメリカについては以前にも調査したことがあるが、その後の新しい変化を加えて、最新の状況を探った。

2 調査の概要

(1) 日程

本調査は、下表の日程で所要の訪問先を訪ね、レクチャーを受け、資料を収集した。

月 日 (曜)	都市 (国)	訪問先
6月19日 (火)	ウィーン (奥)	・OEAMTC 本部および運航・整備基地
6月21日 (木)	パリ (仏)	・パリ SAMU
6月25日 (月)	ローマ (伊)	・ピエルイギ・タスキオッティ医師
6月26日 (火)	ジェノア (伊)	・カルロ・ベルリーニ医師
6月27日 (水)	ミラノ (伊)	・アグスタウェストランド社
6月28日 (木)	トレヴィソ (伊)	・トレヴィソ病院

月 日 (曜)	都市 (国)	訪問先
9月17～19日 (火～木)	タンパ (米)	・AMTC (国際航空医療搬送会議) ・ベイフロント救命救急センター
9月22日 (土)	ペンサコーラ (米)	・バプティスト病院

(2) 調査団

本調査は下記のメンバーによって実施した。

- ・ 篠田伸夫 (HEM-Net 理事、元自治省消防庁次長、元岐阜県副知事)
- ・ 山野 豊 (HEM-Net 理事、日本航空医療学会評議員)
- ・ 西川 渉 (HEM-Net 理事、元地域航空総合研究所所長)

3 謝辞

本調査にあたっては、元ヴァチカン大使鹿野軍勝氏、並びに在ローマ日本大使館の皆さまにお世話をいただきました。またアメリカでは2カ所の病院訪問に際し、ゴールドンアワー社のケビン・ハットン博士および社員のブライアン・ラクスデール氏のお世話になりました。ここに厚く御礼申し上げます。